

# 当ファンドの運用状況と今後の医療関連業界

追加型投信／内外／株式

世界メディカル関連株式オープン〈愛称：医療革新〉

※本資料は「世界メディカル関連株式オープン〈愛称：医療革新〉」の概要について投資家のみなさまにお知らせするために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書（交付目論見書）をご確認いただく必要があります。

## 2021年初来の当ファンドの基準価額の推移

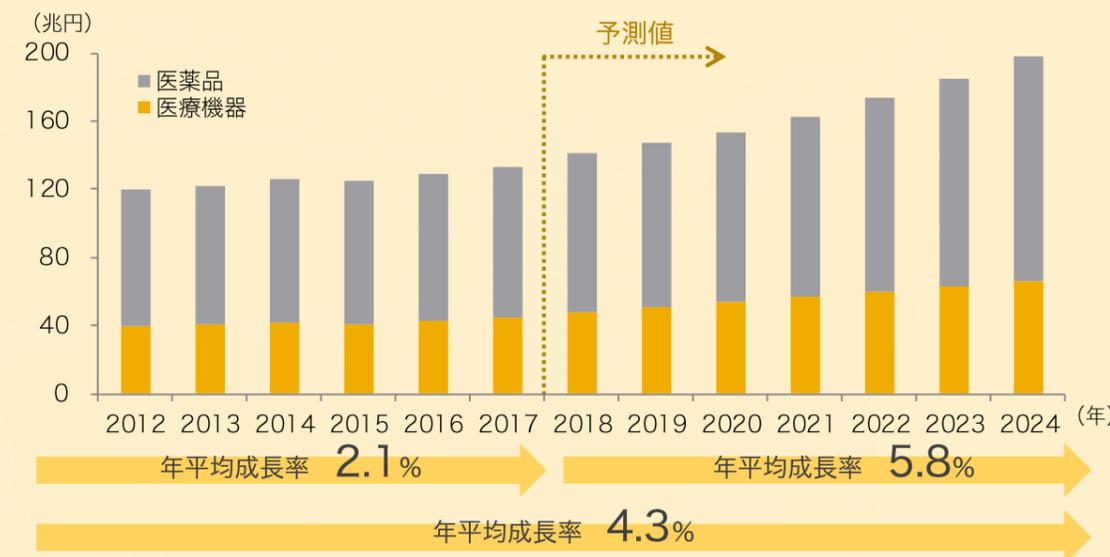
2021年初来の当ファンドの基準価額は、米国の金利上昇を背景とする株安により一時下落する局面があったものの、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）のワクチン接種進展に伴う景気回復期待や、組入銘柄企業の新薬承認等を背景として、概ね上昇基調で推移しました。当ファンドの基準価額は、2021年7月26日に設定来最高値である18,988円をつけ、2021年7月30日時点では18,771円となっています。



・期間：（左図）2014年9月8日（設定日）～2021年7月30日、（右図）2020年12月30日～2021年7月30日・基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・なお、掲載期間においては、分配金をお支払いしていません。

## 世界の医薬品と医療機器の市場規模推移

世界の医薬品と医療機器の市場規模は、2012年から2017年までの年平均成長率2.1%に対し、2018年から2024年の年平均成長率は5.8%とさらなる成長が予測され、2024年には200兆円近くまで到達することが見込まれています。



・医薬品は処方薬。為替は1ドル110.58円（2021年6月30日時点）で計算。  
・期間：2012年～2024年（2018年以降は予測値）、出所：EvaluatePharma「World Preview 2020, Outlook to 2026」、EvaluateMedTech「World Preview 2018, Outlook to 2024」を基に三菱UFJ国際投信作成

## 変わらない成長ストーリー

### 医療関連業界の3つの成長ポイント

- #### 1 先進国の高齢化

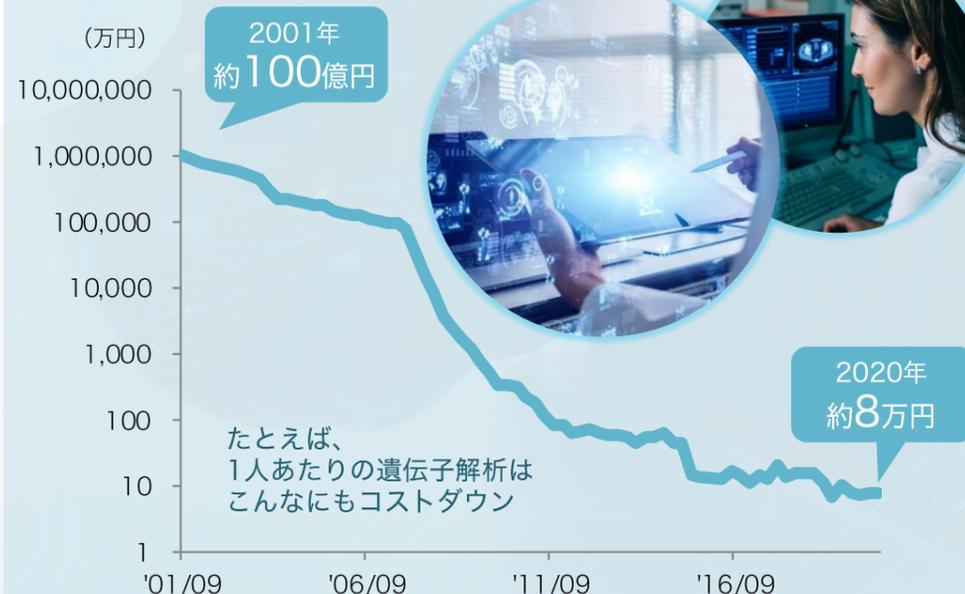
医療の進歩等により高齢化が進み、医療支出が拡大
- #### 2 新興国の所得増加

経済成長に伴う所得の増加により、先進国と同様に医療支出が増加
- #### 3 バイオ医薬品の発展

バイオ医薬品の売上高は年々増加  
難治療分野への展開が見込まれ、世界の医薬品売上高に占める比率も高まると予想

## さらなる成長ストーリー

### テクノロジーの進化が成長ドライバーに



・期間：2001年9月末～2020年8月末、3ヵ月毎（2003年10月末までは半年毎）  
・為替は1ドル110.58円（2021年6月30日時点）で計算。  
・出所：National Human Genome Research Instituteのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### 《すでに実用化されているテクノロジー》

- #### 創薬

    - AIやビッグデータの活用により、創薬が短期間で可能に
    - 遺伝子解析装置の進化により創薬のコストダウン
  - #### オンライン診療

    - 新型コロナの感染拡大の影響からデジタル化への流れが加速し、オンライン診療が普及
  - #### 医療機器

    - 血液を採取して測定していた血糖値は、腕に装着するだけで測定ができるウェアラブルセンサーに
  - #### 手術

    - 難易度の高い手術を補助する手術支援ロボットが活躍
    - 臓器をVR（バーチャルリアリティ・仮想現実）などで再現するシステムも登場
- ・上記は一例です。

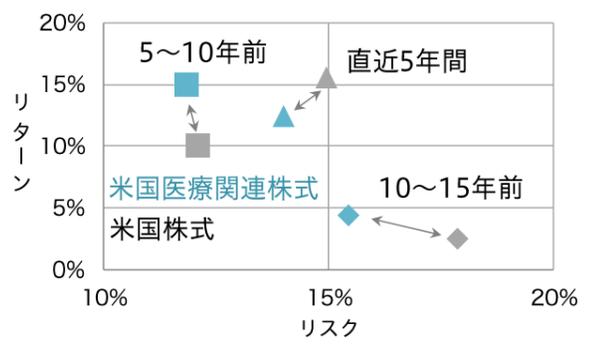
# 投資対象としての医療関連株式

追加型投信/内外/株式  
世界メディカル関連株式オープン 〈愛称：医療革新〉

## 医療関連株式の傾向

■ リスクは米国株式よりも低い傾向、リターンは米国株式を上回ったことも

### 米国株式と米国医療関連株式のリスク・リターン

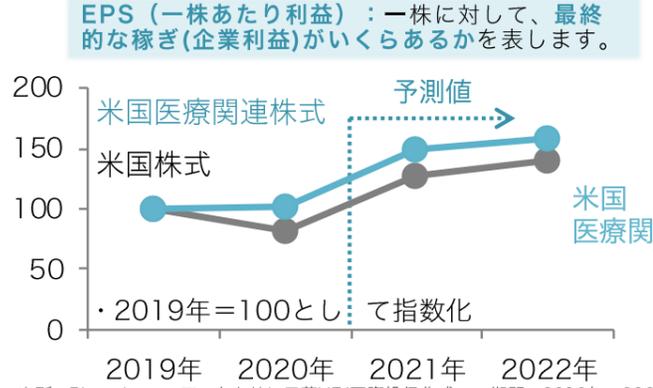


当ファンドが投資する医療関連株式は生命に関わる製品やサービスを提供する業界の株式であり、企業収益が大きく変動しにくいと考えられることなどから、過去においては相対的に低リスクとなりました。加えて、左記のうち5~10年前と10~15年前の2期間において米国株式よりも高いリターンを獲得しました。

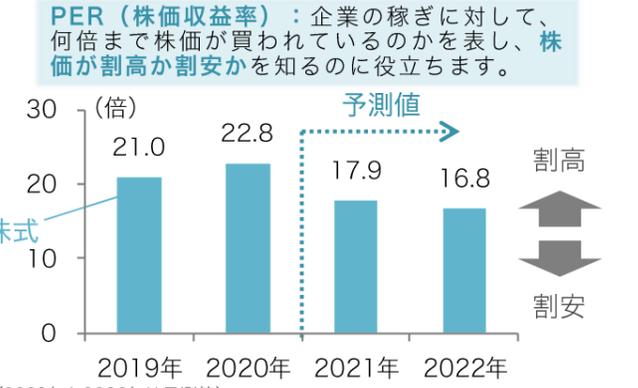
・出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
・直近5年間（2016年6月～2021年6月）、5～10年前（2011年6月～2016年6月）、10～15年前（2006年6月～2011年6月）  
・リスクは各期間（月次）の騰落率を基に算出した標準偏差を年率換算して算出。リターンは月次騰落率の平均を年率換算して算出。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

■ EPSは米国株式を上回り上昇が見込まれる一方、PERは直近2年間対比で割安傾向を見込む

### EPS



### PER



・出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成 期間：2019年～2022年（2021年と2022年は予測値）  
・2021年および2022年のEPSとPERは2021年7月21日に取得した各年末の予測値を使用。  
※上記「医療関連株式の傾向」では、2021年6月30日時点で国・地域の組入第1位である米国の指数を使用しています。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

ファンドの目的 信託財産の成長を目指して運用を行います。

- ファンドの特色
- 世界主要先進国市場の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。
    - 世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス等の医療関連(メディカル関連)企業の株式に分散投資を行います。
    - 株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。
  - 徹底したボトムアップ・アプローチを行い、企業の適正価値に対して株価が割安と判断する銘柄に投資します。
    - 収益性や財務内容に加え、長期的な視点に基づき、新商品の研究開発力、経営戦略、競争力等に重点を置いたボトムアップ・アプローチを行います。独自に評価する企業の適正価値に対して、株価が割安であると判断する銘柄に投資します。
    - ※ボトムアップ・アプローチ：投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。
    - 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
    - 資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1、特色2のような運用ができない場合があります。
  - ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図の権限を委託します。
    - 主として医療関連企業の株式に関する運用指図の権限を委託します。
    - ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つです。
    - 医療関連セクターでは世界最大規模のファンドの運用アドバイザーを受託しています。
  - 年1回の決算時(8月27日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
    - 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
    - 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

**投資リスク** 基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならず、帰属します。したがって、投資者のみならずの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なり、主なる変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。上記は主なるリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【本資料で使用している指数について】 ■米国株式：S&P500 ■米国医療関連株式：S&P500 業種指数ヘルスケア(いずれも配当なし、米ドルベース)  
・本資料中の指数等の知的財産権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項については、委託会社のホームページ(https://www.ammfuj.jp/other/disclaimer.html)を合わせてご確認ください。

【GICS(世界産業分類基準)について】 Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

## 《PICK UP》進む医薬品開発



新型コロナのワクチン開発が想定よりも早いスピードで行われたことは、医薬品の開発力の高さを証明するものでした。新しい医薬品の開発は、新型コロナだけでなく、がん・アルツハイマー型認知症などの難治療分野においても進んでいます。

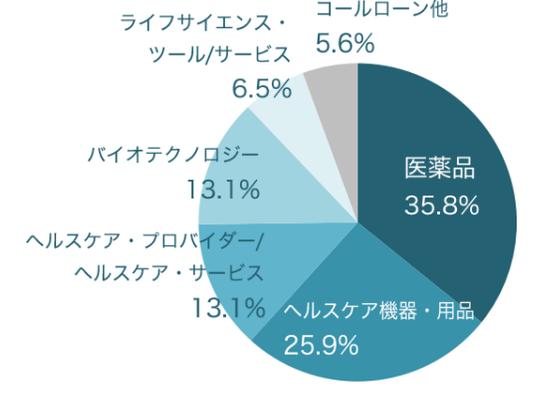
### 医薬品開発ニュース

- ▶ **新型コロナ**  
2021年7月8日、米ファイザー(組入第4位)と独ビオンテックは、新型コロナの変異株(デルタ株)に対応する新たなワクチンを開発中であることを発表しました。
- ▶ **がん**  
2021年6月11日、第一三共(組入第17位)は、ウイルスを使ってがん細胞を攻撃する医薬品(がん治療用ウイルス)について、国内での製造販売承認(世界初)を得たと発表しました。
- ▶ **アルツハイマー型認知症**  
2021年6月8日、米バイオジェン(組入第37位)とエーザイ(組入第11位)は、アルツハイマー病の病理に作用する世界で初めてかつ唯一の治療薬が米食品医薬品局(FDA)に迅速承認されたことと発表しました。

・出所：各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成  
・上記は2021年6月30日時点の組入銘柄のうち、2021年6月1日～7月9日にプレスリリースされた事例の一例を紹介したものであり、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて組み入れることを保証するものではありません。・上記は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

## 当ファンドの運用状況 (2021年6月30日時点)

### 《業種別組入比率》



### 《組入上位10銘柄》

組入銘柄数: 75銘柄

順位	銘柄	業種	比率
1	ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	6.6%
2	イーライ・リリー	医薬品	5.7%
3	アストラゼネカ	医薬品	5.1%
4	ファイザー	医薬品	4.8%
5	ノバルティス	医薬品	4.1%
6	ブリistol・マイヤーズ スクイブ	医薬品	4.0%
7	ボストン・サイエンティフィック	ヘルスケア機器・用品	3.2%
8	ダナー	ヘルスケア機器・用品	3.2%
9	アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・用品	3.1%
10	エドワーズライフサイエンス	ヘルスケア機器・用品	3.0%

・業種は、GICS(世界産業分類基準)の産業分類で分類。ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスには、病院・保険会社やヘルスケア・サービスの提供業者が含まれます。比率は純資産総額に対する割合です。四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

### ファンドの費用

◎お客様が直接的に負担する費用 ※三井住友信託銀行でお申込みの場合

購入時	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×手数料率で得た額	
		手数料率は、購入代金(購入金額+購入時手数料(税込))に応じて以下の率とします。	手数料率
		1,000万円未満	3.30% (税抜 3.00%)
		1,000万円以上1億円未満	2.75% (税抜 2.50%)
		1億円以上	2.20% (税抜 2.00%)

換金時 信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%をかけた額

◎お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に応じて以下の率をかけた額	
		純資産総額	信託報酬率
		200億円以下の部分に対して	年率2.200% (税抜 年率2.000%)
200億円超の部分に対して	年率1.870% (税抜 年率1.700%)		

その他の費用・手数料 以下の費用・手数料についても当ファンドが負担します。監査法人に支払われる当ファンドの監査費用/有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料/有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用/その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※ 運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6か月終了時、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。  
※ 上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

<課税関係> 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

【本資料に関するご注意事項】 ■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

● 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



三井住友信託銀行株式会社  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号  
加入協会：日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会

## 設定・運用は 三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会